

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2020年度)

専門分野区分	パソコン活用	科目名	パワーポイント	科目コード	T1565B1
配当期	前期・ 後期 ・通年	授業実施形態	通常 ・集中	単位数	1単位
担当教員名	黒原	履修グループ	1I(BI/BO)	授業方法	演習
実務経験の内容	流通系IT企業でシステムエンジニア、プログラマとしてPOSレジ開発部門に2年従事。開発した製品をフェアなどで発表するときはPowerPointを使ってスライドを作成。開発の現場ではプログラミングが重要であることはもちろんですが、伝える、発表するツールとしてOfficeのアプリを活用する力も大切です。実務でのイメージがわかりやすいように、具体的例をあげ、Officeのアプリのスキルをあげていけるよう進めていきます。				
学習一般目標	プレゼンテーションのツールとしてPowerPointの技術を取得する。 わかりやすい、伝えられるプレゼンテーションをすることを意識したスライド作りができる。 スライドを利用して発表するときの、発表者としての声の大きさ、みぶり、タイミングなど聞き手に伝わる技術を取得する。 グループで大きなテーマに取り組む。レポートをまとめ、発表をする。				
授業の概要および学習上の助言	PCを使った実習授業 PowerPointというアプリケーションをただ使えるというだけではなく、表現したいことを最大限に伝えられるようツールをうまく利用する技術を身につけてほしいと思います。				
教科書および参考書	よくわかる Microsoft PowerPoint 2016 基礎				
履修に必要な予備知識や技能					
使用機器	PC プロジェクタ				
使用ソフト	Microsoft PowerPoint 2016				
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が達成すべき行動目標			
	1	各専門職業分野において必要な実践的な専門的知識・技術を修得し、ものづくりやシステムづくりに活用できる。(知識・理解)			
	4	情報化・国際化に対応する基礎能力を持ち、インターネットなどの情報通信技術(ICT)を活用しながら、自らの考えを論理的に説明し伝達することができる。(技能・表現)			

達成度評価	評価方法	試験	クイズ 小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計	
	総合評価割合			90				10	100	
	学部 D P	1.知識・理解			40					40
		2.思考・判断								
		3.態度								
		4.技能・表現			50				10	60
		5.関心・意欲								
評価の要点	評価方法	評価の実施方法と注意点								
	試験	筆記試験なし。								
	クイズ 小テスト									
	レポート	課題提出 (各回締め切りを守ること。)								
	成果発表 (口頭・実技)	プレゼンテーション (個人・グループワークの2回)								
	作品									
	ポートフォリオ									
	その他	授業態度、出席								

授業明細表

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1週 /	1章 PowerPointの基礎知識 2章 基本的なプレゼンテーション作成	実習	
第2週 /	3章 表の作成 4章 グラフの作成	実習	
第3週 /	5章 図形や SmartArt グラフの作成	実習	
第4週 /	自由制作 (プレゼンテーション テーマを選択する。スライド作成)	実習	
第5週 /	自由制作(テーマについてのレポート を作成する。スライド作成、順番決定)	実習	
第6週 /	プレゼンテーション1 (個人)		
第7週 /	プレゼンテーション2 (個人)		
第8週 /	6章 画像やワードアートの挿入 7章 特殊効果の設定	実習	
第9週 /	8章 プレゼンテーションをサポート する機能	実習	
第10週 /	自由制作 (グループワーク：グループの決定 テーマ作成、役割作成)	実習	
第11週 /	自由制作 (グループワーク：テーマについての レポート作成、資料作成、スライド作 成)	実習	
第12週 /	自由制作 (グループワーク：スライドの完成、 リハーサル、発表の順番を決定する)	実習	
第13週 /	プレゼンテーション (グループ1)	実習	
第14週 /	プレゼンテーション (グループ2)	実習	
第15週 /	プレゼンテーション (グループ3)	実習	